

平成 27 年度 みやぎ環境交付金事業 (計画・実績) 概要書

市町村名 : 登米市

市民参加の新たな森林づくり事業

<事業目的>

森林は、二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を防止するなど地球環境にとって大切な資源であり、次代へ継承するため「市民参加の新たな森林づくり植樹祭」を実施する。

二酸化炭素の削減効果	487kg-co2
経済波及効果	1 百万円
その他	参加人数 354 名

<事業内容>

「市民参加の新たな森林づくり植樹祭」として、身近な里山へ市民参加により広葉樹の植栽を行う。

- ① 参加者 市民、みどりの少年団等 354 名 (春 : 186 名・秋 : 168 名)
- ② 植林面積 0.58ha (春 : 0.33ha、秋 : 0.25ha)
- ③ 植樹内容  
春 : 低花粉スギ計 660 本を植栽した。  
秋 : ヤマザクラ 500 本の植栽とドングリ (コナラ・ミズナラ・シバクリ) の種まきを行った。
- ④ 開催内容  
植樹活動終了後、環境教育の推進を図るため、エコ戦隊ショーを開催した。  
みやぎ環境交付金対象事業費は、記念品・標柱代・エコ戦隊ショー出演料とした。
- ⑤ 実施時期 春 : 平成 27 年 5 月 24 日  
秋 : 平成 27 年 11 月 5 日

<その他>

市民参加による植樹活動を行うことにより、二酸化炭素吸収源としての森林機能の強化はもちろんのこと、木々の成長とともに、登米市も市民も成長し、歴史を刻んでいくことや市民が自然環境に直接ふれあうことにより、森林に親しみをもつこと、環境を大切にする意識の向上を図ることができた。



平成 27 年度春の植樹祭のもよう

※平成 24 年度から平成 27 年度までの事業実績

植林面積 : 春 1.56ha 秋 1.15ha

植樹内容 : 造林場所により広葉樹 (コナラ等) 5,420 本を植栽する。